

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(令和2年度)

2. 分野別状況(2)地域活性化総合特区 ①グリーン分野(3/5)

	総合評価 (IとIIとIIIを1:1:2の割合で計算)	I	II	III	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
		目標に向けた取組の進捗	支援措置の活用と地域独自の取組の状況	取組全体にわたる事業の進捗と政策課題の解決	
次世代エネルギー ・モビリティ創造特区 (豊田市)	4.4	4.3 進捗度 ・再生可能エネルギー(太陽光、小水力等)の地産地消費率の向上 225% ・モビリティの活用によるCO2の削減(運輸部門) 94% ・市域経済の成長 90% ・市民満足度の向上 -%	4.4 規制の特例等 ・HEMS(ホームエネルギーマネジメントシステム)を介したスマートフォンによる遠隔操作 財政支援等 ・人がつながる”移動”イノベーション拠点 ～高齢者が元気になるモビリティ社会～ 等 地域独自の取組 ・豊田市エコファミリー支援補助金 等	4.5	<p>・評価指標だけでなく、CO2フリー水素の活用、EVバスの自動運転の実証、とよたエコフルタウンでの新型コロナウイルスに対応した新しい生活様式の定着に向けたプロジェクトへの取組なども行っていることから、著しく優れていると評価できる。</p> <p>・住まい、自動車、企業、市民意識と広範にわたる取組である。</p> <p>・地域独自のスマートハウス減税などの効果的な情報提供が実を結んだことが評価される。</p> <p>・潜在力の高い既築物件へのリフォームによるスマートハウス化の取組にも、期待したい。</p> <p>・新型コロナウイルス感染症による影響の中、リモートでのとよたエコフルタウンガイドツアーやオンラインでのSDGs国際会議などによる遠隔でのPR、在宅避難体験ガイドなどの災害対応の取組も有意義。</p> <p>・インドネシア、バンドンでの介護の活用に資する弾力的な制度運用に基づく取組が今後も継続し、さらなる発展に寄与することを期待したい。</p> <p>・企業・工場誘致関係の数が伸び悩み気味であることについてどのように評価しているのか。</p>